



薬剤部 ～情報～

平成30年8月



7月の採用薬品（常備薬品）

フォシーガ錠5mg アストラゼネカ

2型糖尿病治療剤（SGLT2阻害剤）

【効】2型糖尿病
【用】通常、成人にはダパグリフロジンとして5mgを1日1回経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら10mg1日1回に増量することができる。

【副】低血糖、腎機能障害、脱水、頻尿、便秘、口渇、尿路感染等

スポンゼル 2.5cm×5cm 3枚入り

アステラス製薬

止血用ゼラチンスポンジ

【効】各種外科領域における止血、褥瘡潰瘍
【用】適当量を乾燥状態のまま、又は生理食塩液かトロンピン溶液に浸し、皮膚或は臓器の傷創面に貼付し、滲出する血液を吸収させ固着する。本品は組織に容易に吸収されるので体内に包埋しても差し支えない。

【禁】血管内
【副】ショック、アナフィラキシー

ファセンラ皮下注30mgシリンジ（特定個人薬）

アストラゼネカ

ヒト化抗IL-5受容体αモノクローナル抗体製剤（重症喘息治療剤）

【効】気管支喘息（既存治療によっても喘息症状をコントロールできない難治の患者に限る）
【用】通常、成人にはベンラリズマブ（遺伝子組換え）として1回30mgを、初回、4週後、8週後に皮下に注射し、以降、8週間隔で皮下に注射する。
【副】頭痛、発熱、注射部位反応等



7月の採用薬品（院外処方専用薬）

アコファイド錠100mg

ゼリア新薬工業

機能性ディスぺプシア（FD）治療剤

【効】機能性ディスぺプシアにおける食後膨満感、上腹部膨満感、早期満腹感
【用】通常、成人にはアコチアミド塩酸塩水和物として1回100mgを1日3回、食前に経口投与する。

【副】下痢、便秘、悪心、嘔吐、血中プロラクチン増加、血中トリグリセリド増加、ALT増加、AST増加、γ-GTP増加

レミニールOD錠4mg

ヤンセンファーマ

アルツハイマー型認知症治療剤

【効】軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制

【用】通常、成人にはガラントミンとして1日8mg（1回4mgを1日2回）から開始し、4週間後に1日16mg（1回8mgを1日2回）に増量し、経口投与する。なお、症状に応じて1日24mg（1回12mgを1日2回）まで増量できるが、増量する場合は変更前の用量で4週間以上投与した後に増量する。

【副】悪心、嘔吐、食欲不振、下痢、体重減少、頭痛、徐脈、心ブロック等

ルネスタ錠3mg

エーザイ

睡眠導入剤

【効】不眠症
【用】通常、成人にはエスゾピクロンとして1回2mgを、高齢者には1回1mgを就寝前に経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、成人では1回3mg、高齢者では1回2mgを超えないこととする
【禁】重症筋無力症の患者、急性狭隅角緑内障の患者
【副】味覚異常、頭痛、傾眠、浮動性めまい、口渇等



7月の削除薬品：サージセル・アブソーバブル・ヘモスタット 1.3cm×5.1cm

当センター採用の睡眠薬についてまとめました

ベンゾジアゼピン受容体作動薬

ベンゾジアゼピン受容体作動薬									メラトニン受容体作動薬	オレキシン受容体拮抗薬
超短時間作用型			短時間作用型			中間作用型			ロゼレム錠	ヘルソムラ錠
ゾルピデム	ルネスタ錠	ハルシオン錠	エチゾラム錠	プロチゾラム	エバミール錠	フルニトラゼパム錠	ユーロジン錠	ベンザリン錠	ロゼレム錠	ヘルソムラ錠
酒石酸塩錠5mg	2mg/3mg	0.25mg	0.5mg	OD錠0.25mg	1.0mg	1mg	2mg	5mg	8mg	15mg/20mg